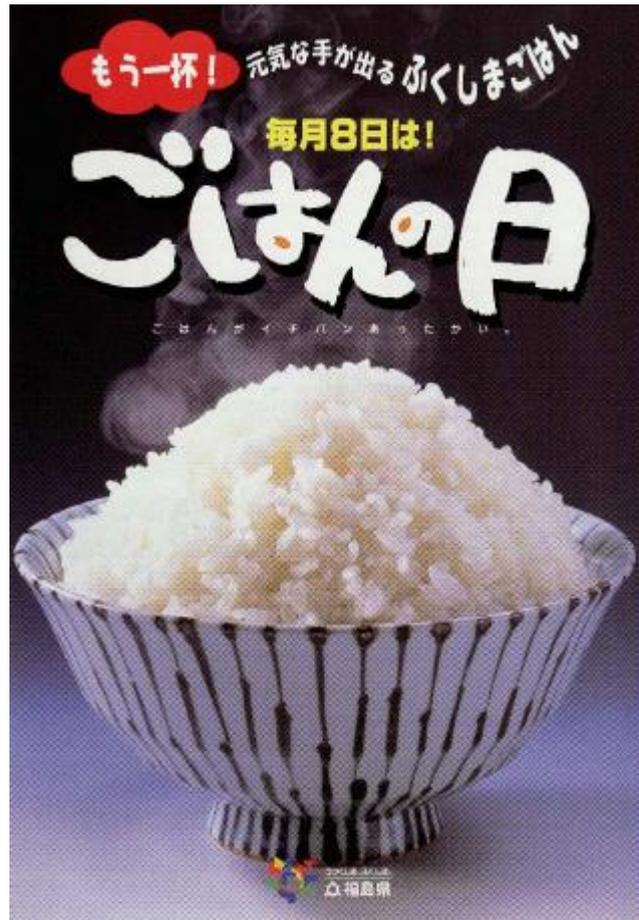


県産米流通状況調査報告書



平成29年3月

福島県農林水産部
農産物流通課

目 次

調査方法等

1 調査目的	1
2 調査対象	1
3 調査実施期間	1
4 調査対象者	1
5 調査項目	2

調査結果

農業者・農業協同組合・卸売業者等に関する調査結果の概要	4
Ⅰ 農業者	7
Ⅱ 農業協同組合	11
Ⅲ 卸売業者等	
Ⅲ－1 県内卸売業者等	14
Ⅲ－2 県外卸売業者	17
Ⅳ 実需者	
Ⅳ－1 量販店	20
Ⅳ－2 ホテル・旅館業者	21
Ⅳ－3 小売業者	22
Ⅳ－4 食品加工業者	23
有機栽培米・特別栽培米・エコ米に関する調査	24

県産米の評価等

1 県産米の良い点（良評価）	28
2 県産米の悪い点（悪評価）	28
3 集荷・販売における県産米の区分	28
4 福島県産米を仕入れる際の優先順位	29
5 福島県産米に係る今後の取扱い意向	30
6 有機栽培米・特別栽培米・エコ米に係る今後の取扱い意向	32
7 仕入れの際に重視していること	32
8 形態別の今後の取扱い意向	33
9 生産における今後の意向	35

調査方法等

1 調査目的

本県産米の持続的な振興を図っていくためには、消費者や実需者のニーズを的確に把握しながら、「売れるものを作る」という戦略的な生産及び販売に向けた取組みを展開していく必要がある。

このため、県産米の流通状況を明確にするとともに、県産米取扱業者の県産米に対する評価や要望等を把握することにより、今後、戦略的な販売促進対策を構築する基礎資料とするため調査を行う。

2 調査対象

平成27年産の本県産米

(主食用うるち米、酒造好適米、加工・原材料うるち米及びかけ米、もち米)

3 調査実施期間

平成28年10月～平成29年2月

4 調査対象者

区分	調査対象者	調査数	回答数	調査方法
I 農業者	大規模稲作経営体 (概ね10ha以上)	58	58	訪問による聞取調査
II 農業協同組合		5	5	文書調査
III 卸売業者等	全農県本部、県内卸売業者及び主な集荷・販売業者	20	20	文書調査
	県外卸売業者	4	4	訪問による聞取調査
IV 実需者	量販店	6	3	文書調査又は訪問による聞取調査
	小売業者	3	3	
	旅館業者	5	5	
	食品加工業者	7	7	
計		108	105	

◆方部別大規模稲作経営体調査箇所数

県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計
4	10	12	22	2	6	2	58

5 調査項目

区分		主な調査項目
I	農業者	①地域別、業務別販売先 ②契約栽培に基づく生産 ③今後の意向、県への要望
II	各農業協同組合	①地域別、業態別販売先 ②有機米・特裁米・エコ米の販売先
III	卸売業者等	①業態別仕入先 ②地域別、業態別販売先 ③有機・特裁・エコ米の取扱状況 ④県産米の評価等 ⑤県への要望等
IV	実需者	①県産米の評価 ②県への要望等

※ ラウンドの関係上、計と内訳が一致しない場合がある。

調查結果

農業者・農業協同組合・卸売業者等に関する調査結果の概要

1 調査対象等

- (1) 調査対象 「Ⅰ農業者」、「Ⅱ農業協同組合」、「Ⅲ卸売業者等」
 (2) 回答数 87

2 調査結果

(1) 販売状況

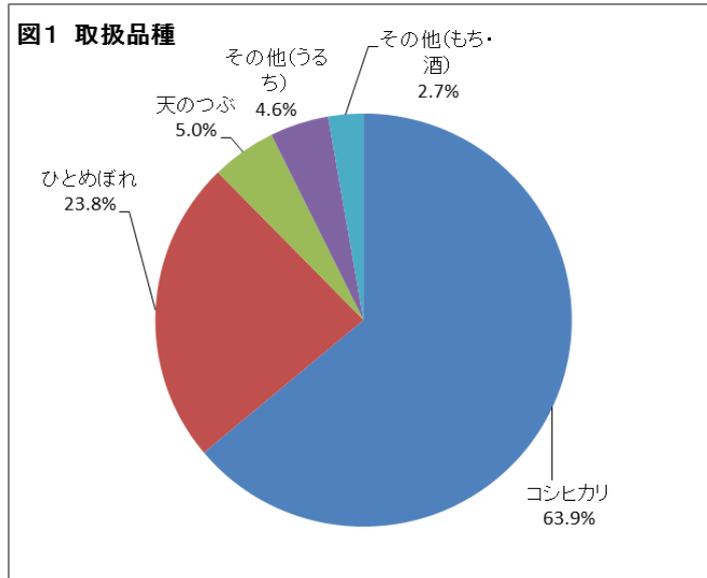
ア 取扱品種

「コシヒカリ」63.9%、「ひとめぼれ」23.8%、「天のつぶ」5.0%、「その他」7.3%となっている。

表1 取扱品種【単位:玄米t・%】

品種	数量 (割合)
コシヒカリ	176,815 (63.9)
ひとめぼれ	65,739 (23.8)
天のつぶ	13,908 (5.0)
その他(うるち)	12,638 (4.6)
その他(もち・酒)	7,552 (2.7)
計	276,651 (100)

図1 取扱品種



イ 販売先

(7) 業態別

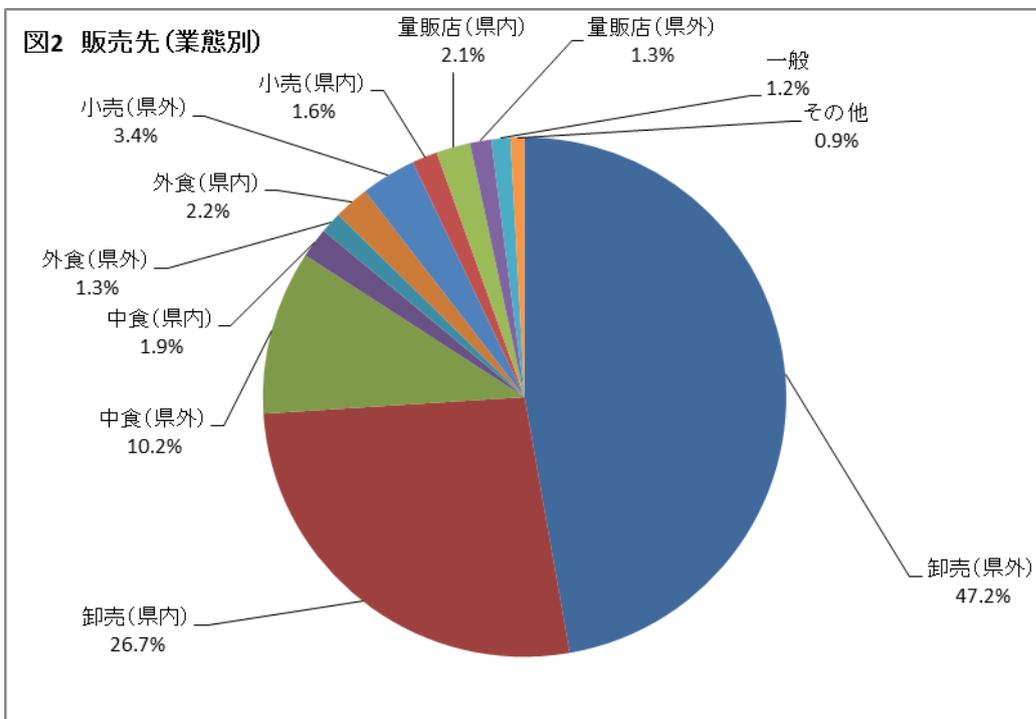
「県外卸売業者」への販売が47.2%と最も多く、次いで「県内卸売業者」が26.7%となっている。

表2 販売先(業態別)

【単位:玄米t・%】

業態	卸売業者		小売店		量販店		外食産業	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
数量 (割合)	73,997 (26.7)	130,667 (47.2)	4,328 (1.6)	9,439 (3.4)	5,808 (2.1)	3,631 (1.3)	6,056 (2.2)	3,658 (1.3)

中食産業		一般消費者		その他		計	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
5,178 (1.9)	28,247 (10.2)	502 (0.2)	2,769 (1.0)	1,521 (0.5)	849 (0.3)	97,391 (35.2)	179,260 (64.8)



(イ) 地域別

販売地域は、「関東」が43.0%と最も多く、次いで「県内」が39.5%となっている。

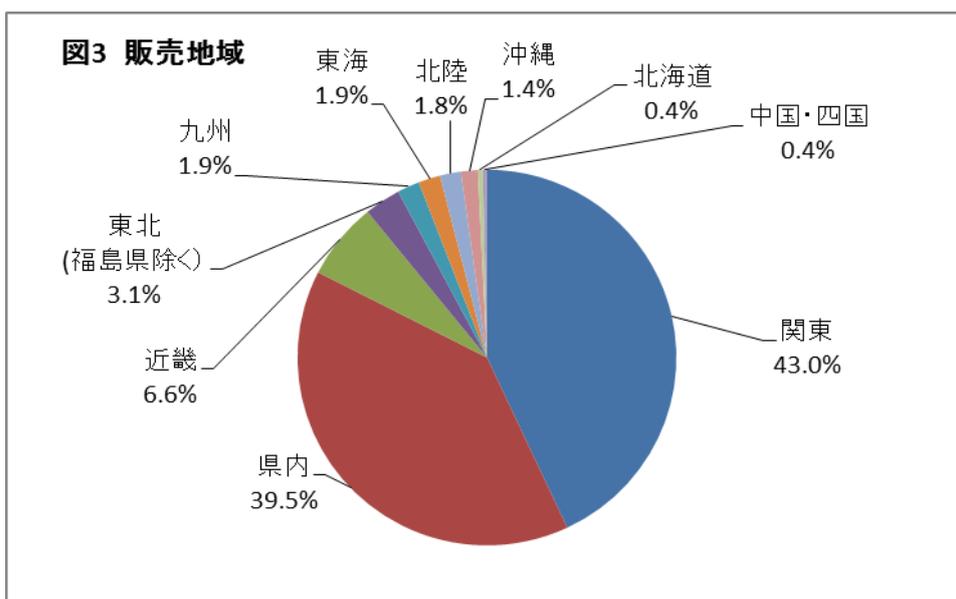
表3 販売地域

【単位:玄米t・%】

地域	県内	北海道	東北 (福島県除く)	関東	北陸	東海
数量 (割合)	101,990 (39.5)	1,075 (0.4)	8,006 (3.1)	111,217 (43.0)	4,630 (1.8)	4,831 (1.9)

近畿	中国・四国	九州	沖縄	不明	計
17,175 (6.6)	907 (0.4)	4,911 (1.9)	3,701 (1.4)	8 (0.0)	258,453 (100.0)

※ 調査対象者の集計都合によりP5-表2の数値と一致しない。
有効回答が得られなかった県外卸売業者1社を除く。



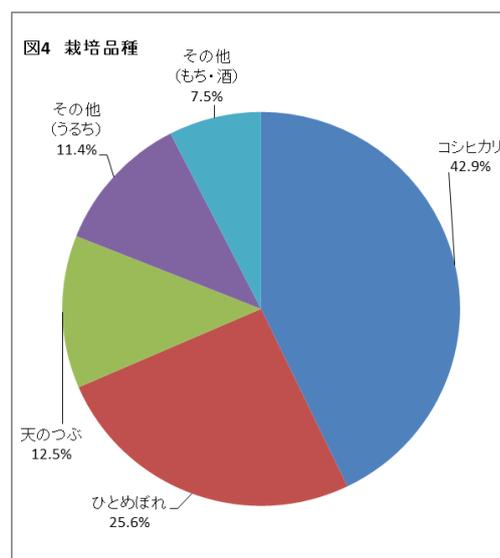
I 農業者

1 品種別生産量

「コシヒカリ」42.9%、「ひとめぼれ」25.6%、「天のつぶ」12.5%、となっている。

表4 販売量 【単位：玄米t・%】

	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき	計	割合
コシヒカリ	227	591	481	887	9	258	33	2,487	42.9%
ひとめぼれ	21	420	178	752	55	61	0	1,487	25.6%
天のつぶ	53	249	147	113	0	165	1	728	12.5%
その他 (うるち)	25	208	39	186	127	44	36	664	11.4%
その他 (もち・酒)	22	57	41	173	0	137	6	437	7.5%
計	349	1,524	886	2,112	191	665	77	5,804	100.0%



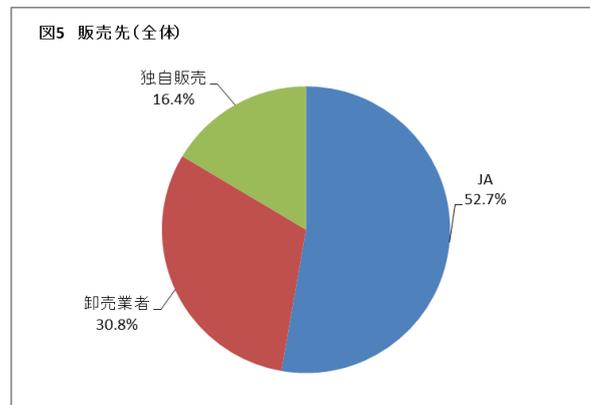
2 販売先

(1) 全体

「JA」への委託販売が52.7%と最も多く、次いで「卸売業者」の30.8%、「独自販売」が16.4%となっている。

表5 販売先 【単位：玄米t・%】

	JA	卸売業者	独自販売	計 (割合)
数量	3,061	1,789	954	5,804
(割合)	(52.7)	(30.8)	(16.4)	(100.0)



(2) 独自に販売した米の販売先

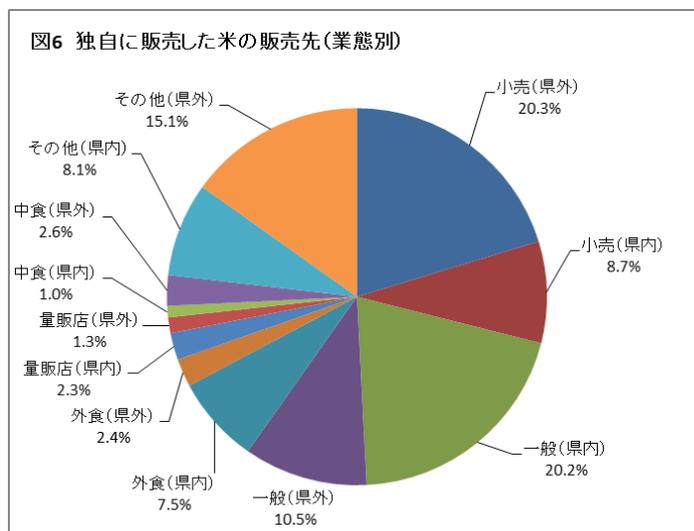
ア 業態別

「小売店（県外）」への販売が20.3%と最も多く、次いで「一般（県内）」20.2%、「その他（県外）」が15.1%となっている。

表6 独自に販売した米の販売先(業態別) 【単位:玄米t・%】

業態	小売店		スーパー・量販店		外食産業等	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外
数量 (割合)	83 (8.7)	193 (20.3)	22 (2.3)	13 (1.3)	71 (7.5)	23 (2.4)

中食産業		一般		その他		計	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
9 (1.0)	25 (2.6)	193 (20.2)	100 (10.5)	77 (8.1)	144 (15.1)	455 (47.7)	498 (52.3)



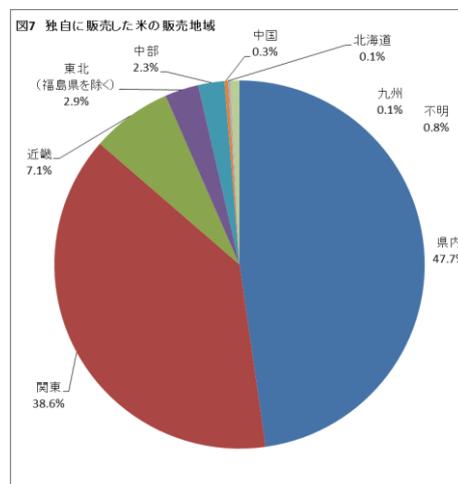
イ 地域別

販売地域は、「県内」が47.7%と最も多く、次いで「関東」38.6%、「近畿」7.1%となっている。

表7 独自に販売した米の販売地域 【単位:玄米t・%】

	県内	北海道	東北 (福島県を除く)	関東	中部	近畿
数量 (割合)	455 (47.7)	1 (0.1)	28 (2.9)	369 (38.6)	22 (2.3)	67 (7.1)

中国	四国	九州	沖縄	不明	計
3 (0.3)	0 (0.0)	1 (0.1)	0 (0.0)	8 (0.8)	954 (100.0)



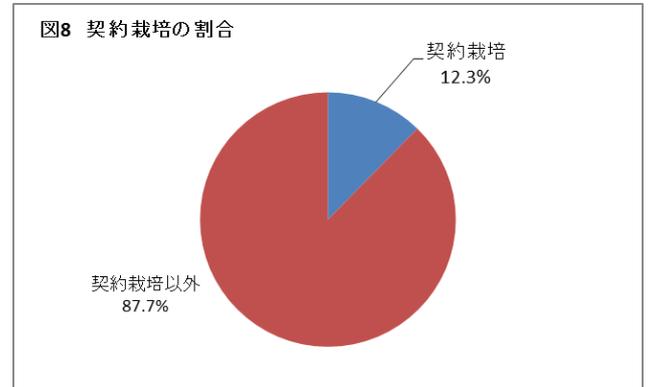
2 契約栽培に基づき生産した米

(1) 契約栽培の割合

契約栽培に基づき生産された米は、全体の12.3%となっている。

表8 契約栽培の割合【単位:玄米t・%】

区分	数量 (割合)
契約栽培	715 (12.3)
契約栽培以外	5,089 (87.7)
計 (割合)	5,804 (100.0)

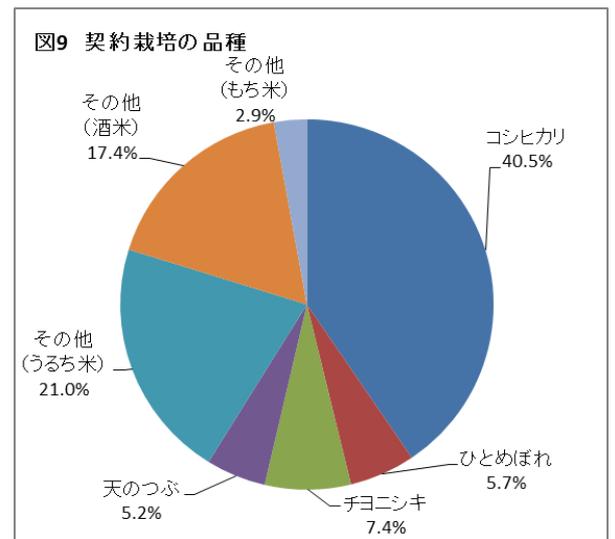


(2) 品種

「コシヒカリ」が40.5%と最も多く、次いで「その他(うるち米)」21.0%、「その他(酒米)」17.4%となっている。

表9 契約栽培の品種 【単位:玄米t・%】

品種	数量 (割合)
コシヒカリ	290 (40.5)
ひとめぼれ	41 (5.7)
チヨニシキ	53 (7.4)
天のつぶ	37 (5.2)
その他(うるち米)	150 (21.0)
その他(酒米)	124 (17.4)
その他(もち米)	20 (2.9)
計(割合)	715 (100.0)



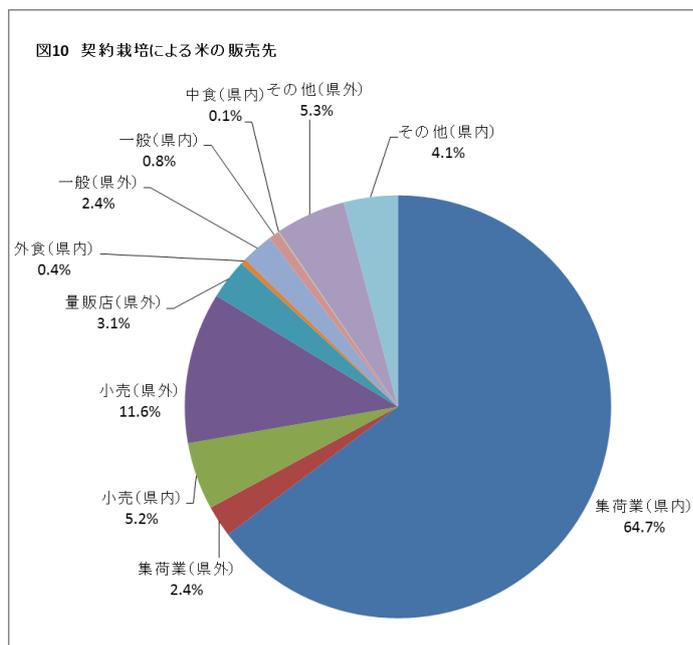
(3) 販売先

「集荷業者（JA含む）」が64.7%であり、続いて「県外小売店」が11.6%となっている。

表10 契約栽培による米の販売先 【単位：玄米t・%】

業態	集荷業者（JA含む）		小売店		量販店		外食産業	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
数量	462	17	37	83	0	22	3	0
（割合）	(64.7)	(2.4)	(5.2)	(11.6)	(0.0)	(3.1)	(0.4)	(0.0)

中食産業		一般		その他		計	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
0	0	6	17	29	38	538	177
(0.1)	(0.0)	(0.8)	(2.4)	(4.1)	(5.3)	(75.0)	(25.0)



Ⅱ 農業協同組合

1 取扱品種及び販売先

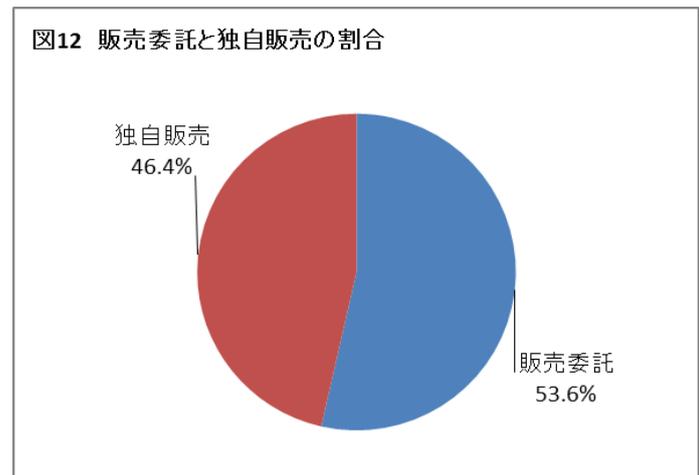
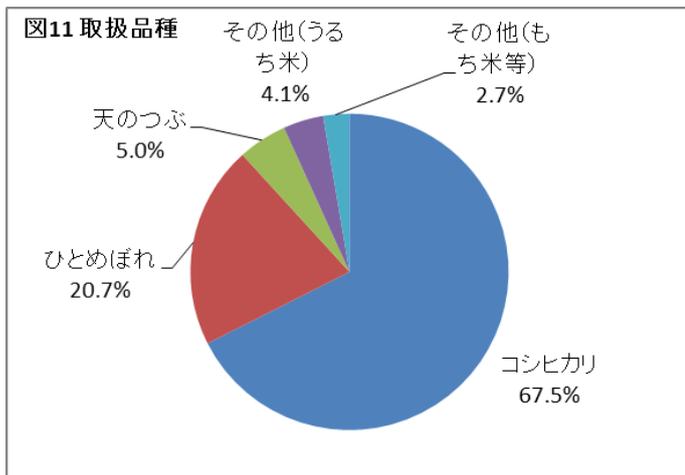
(1) 全体

取扱品種は、「コシヒカリ」が67.5%、「ひとめぼれ」が20.7%、「天のつぶ」が5.0%となっている。

販売先は、「全農」への販売委託が53.6%、「独自販売」は46.4%となっている。

表11 販売の状況 【単位:玄米t・%】

品種 \ 販売先	販売委託	独自販売	計 (割合)
コシヒカリ	47,829	41,008	88,837 (67.5)
ひとめぼれ	15,182	12,084	27,266 (20.7)
天のつぶ	3,764	2,788	6,552 (5.0)
その他 (うるち米)	2,090	3,307	5,397 (4.1)
その他 (もち米等)	1,587	1,901	3,488 (2.7)
計 (割合)	70,452 (53.6)	61,088 (46.4)	131,539 (100.0)



(2) 独自に販売した米の販売先

ア 業態別

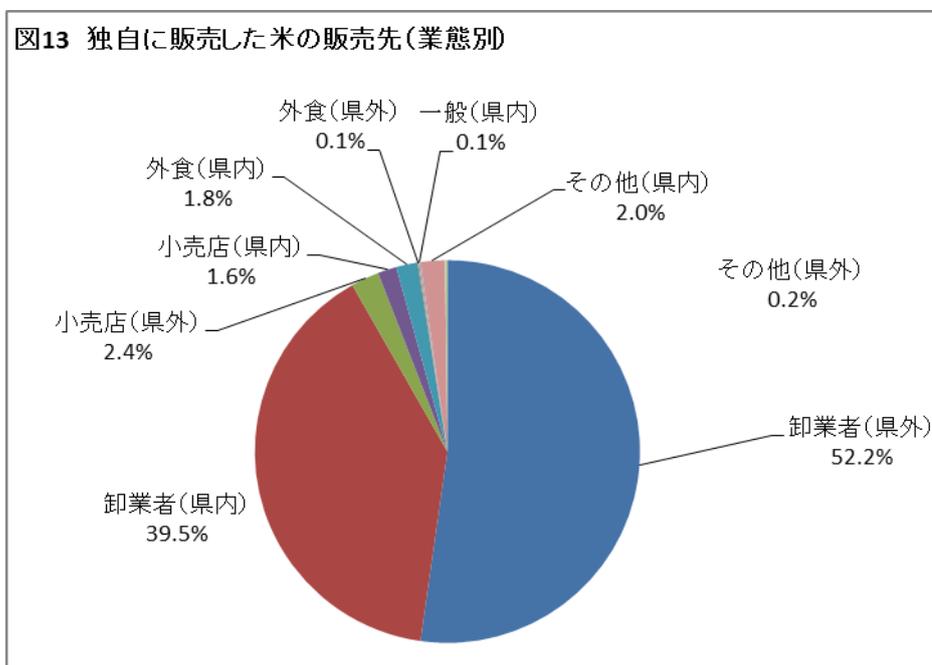
業態別では、「県外卸売業者」が52.2%と最も多く、次いで「県内卸売業者」が39.5%と、卸売業者への販売が全体の約92%を占める。

表12 独自に販売した米の販売先(業態別)

【単位:玄米t・%】

業態	卸売業者		小売店		量販店		外食産業	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
数量	24,155	31,912	963	1,441	0	0	1,107	66
(割合)	(39.5)	(52.2)	(1.6)	(2.4)	(0.0)	(0.0)	(1.8)	(0.1)

中食産業		一般消費者		その他		計	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
0	0	89	1	1,229	125	27,543	33,545
(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.0)	(2.0)	(0.2)	(45.1)	(54.9)



イ 地域別

「県内」が50.3%と最も多く、次いで「関東」が29.9%となっている。

表13 販売地域

【単位：玄米t・%】

都道府県名	主食用 うるち米	酒造好適米	加工・原材料用 うるち米及びかけ 米	もち米	計	割合
北海道	0	0	0	0	0	0.0%
東北	青森	0	0	0	0	
	岩手	0	0	0	0	
	宮城	1,770	0	0	12	1,782
	秋田	0	0	0	0	0
	山形	132	94	0	0	226
	東北計(福島除く)	1,902	94	0	12	2,008
関東	茨城	996	0	0	242	1,238
	栃木	888	0	0	32	921
	群馬	0	0	0	0	0
	埼玉	3,316	0	0	127	3,443
	千葉	204	0	0	0	204
	東京	11,326	27	0	30	11,384
	神奈川	1,385	0	0	26	1,411
	山梨	495	0	0	0	495
	長野	0	0	0	0	0
	静岡	477	0	0	0	477
	関東計	19,087	27	0	458	19,572
北陸	新潟	0	0	0	0	0
	富山	0	0	0	0	0
	石川	0	0	0	0	0
	福井	0	0	0	0	0
	北陸計	0	0	0	0	0
東海	岐阜	0	0	0	0	0
	愛知	3,031	0	0	0	3,031
	三重	0	0	0	0	0
	東海計	3,031	0	0	0	3,031
近畿	滋賀	0	0	0	0	0
	京都	0	0	0	0	0
	大阪	144	0	0	0	144
	兵庫	6,684	0	0	0	6,684
	奈良	1,006	0	0	12	1,018
	和歌山	0	0	0	0	0
	近畿計	7,834	0	0	12	7,846
中国・四国	鳥取	0	0	0	0	0
	島根	0	5	0	0	5
	岡山	0	0	0	0	0
	広島	0	0	0	0	0
	山口	0	0	0	0	0
	徳島	0	0	0	0	0
	香川	0	0	0	0	0
	愛媛	0	0	0	0	0
	高知	0	0	0	0	0
	中国・四国計	0	5	0	0	5
九州	福岡	5	0	0	0	5
	佐賀	0	0	0	0	0
	長崎	0	0	0	0	0
	熊本	0	0	0	0	0
	大分	0	0	0	0	0
	宮崎	0	0	0	0	0
	鹿児島	0	0	0	0	0
	九州計	5	0	0	0	5
沖縄	145	0	0	0	145	0.2%
県外計	32,004	126	0	482	32,612	49.7%
県内	31,644	174	657	474	32,950	50.3%
数量	63,648	300	657	956	65,561	100.0%

※ 調査対象者の集計都合によりP12-表12の数値と一致しない。

Ⅲ 卸売業者等 Ⅲ-1 県内卸売業者等

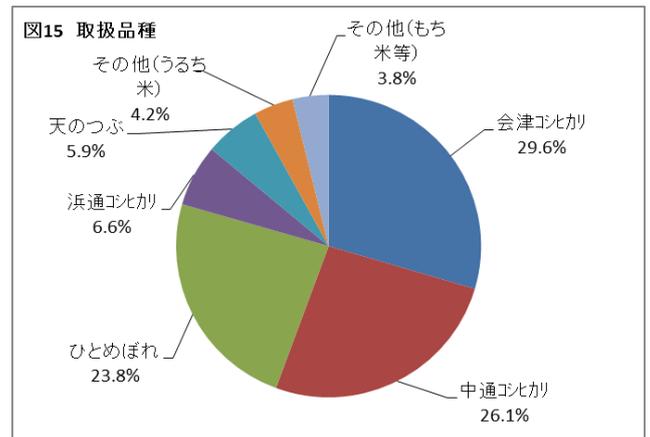
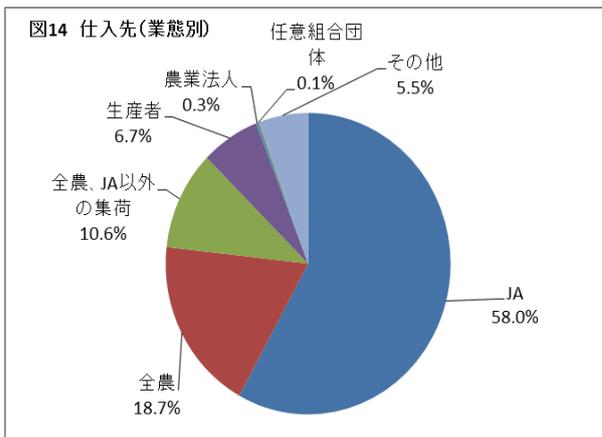
1 仕入状況

- ・ 業態別仕入先は、「JA」が58.0%、「全農」が18.7%となっている。
- ・ 品種別では、「会津コシヒカリ」が29.6%、「中通コシヒカリ」が26.1%となっている。

表14 仕入先

【単位:玄米t・%】

業態 品種	全農	JA	全農、JA以外 の集荷	農業法人	任意組合 団体	生産者	その他	計 (割合)
会津コシヒカリ	5,606	36,163	2,720	103	118	2,838	911	48,459 (29.6)
中通コシヒカリ	7,211	20,103	7,350	0	0	3,160	4,882	42,706 (26.1)
浜通コシヒカリ	2,829	6,779	471	5	0	467	281	10,832 (6.6)
ひとめぼれ	12,248	18,550	4,027	48	75	2,520	1,615	39,083 (23.8)
天のつぶ	1,542	6,631	617	24	0	421	487	9,722 (5.9)
その他 (うるち米)	927	3,190	1,086	128	0	783	731	6,845 (4.2)
その他 (もち米等)	364	3,684	1,150	178	0	733	151	6,260 (3.8)
計 (割合)	30,727 (18.7)	95,100 (58.0)	17,421 (10.6)	486 (0.3)	193 (0.1)	10,922 (6.7)	9,058 (5.5)	163,907



2 販売状況

(1) 販売先

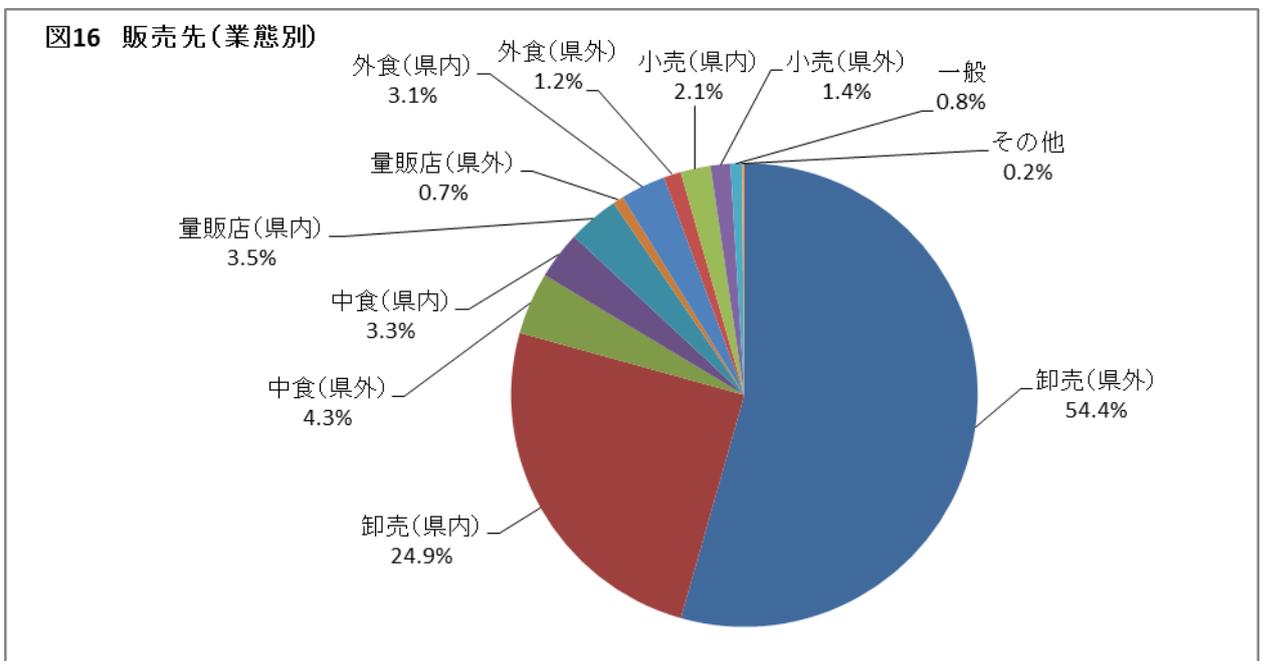
「県外卸売業者」が54.4%、「県内卸売業者」が24.9%となっている。

表15 販売先(業態別)

【単位:玄米t・%】

業態	卸売業者		小売店		量販店		外食産業	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
数量 (割合)	38,688 (24.9)	84,381 (54.4)	3,226 (2.1)	2,118 (1.4)	5,507 (3.5)	1,156 (0.7)	4,848 (3.1)	1,865 (1.2)

中食産業		一般消費者		その他		計	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
5,165 (3.3)	6,700 (4.3)	220 (0.1)	1,012 (0.7)	215 (0.1)	43 (0.0)	57,869 (37.3)	97,275 (62.7)



(2) 販売地域

「県内」、「関東」ともに41.7%となっている。

表16 販売地域

【単位：玄米t・%】

都道府県名	主食用 うるち米	酒造好適米	加工・原材料 うるち米及び かけ米	もち米	計	割合	
北海道	935	0	140	0	1,075	0.7%	
東北	青森	52	0	0	52		
	岩手	1,544	0	0	1,544		
	宮城	3,295	0	285	3,580		
	秋田	0	0	0	2		
	山形	290	104	111	505		
	東北計(福島除く)	5,181	104	396	2	5,683	3.5%
関東	茨城	412	0	12	19	443	
	栃木	786	0	0	5	791	
	群馬	335	0	0	0	335	
	埼玉	21,428	0	3	34	21,465	
	千葉	3,266	0	0	0	3,266	
	東京	25,856	0	0	63	25,920	
	神奈川	13,951	0	0	79	14,030	
	山梨	647	0	0	20	667	
	長野	267	0	0	0	267	
	静岡	454	0	0	0	454	
	関東計	67,402	0	15	220	67,636	41.7%
北陸	新潟	4,123	0	460	0	4,582	
	富山	0	0	0	0	0	
	石川	0	0	0	0	0	
	福井	48	0	0	0	48	
	北陸計	4,171	0	460	0	4,630	2.9%
東海	岐阜	12	0	0	0	12	
	愛知	692	0	0	0	692	
	三重	129	0	0	4	133	
	東海計	833	0	0	4	837	0.5%
近畿	滋賀	2,554	0	0	0	2,554	
	京都	145	0	0	0	145	
	大阪	1,895	0	0	1	1,896	
	兵庫	550	0	0	7	557	
	奈良	91	0	0	0	91	
	和歌山	2,324	0	0	24	2,348	
	近畿計	7,559	0	0	32	7,590	4.7%
中国・四国	鳥取	11	0	0	0	11	
	島根	0	0	0	0	0	
	岡山	275	0	0	0	275	
	広島	431	0	0	0	431	
	山口	1	0	0	0	1	
	徳島	0	0	0	0	0	
	香川	110	0	0	0	110	
	愛媛	11	0	0	0	11	
	高知	21	0	0	0	21	
	中国・四国計	859	0	0	0	859	0.5%
九州	福岡	2,558	0	0	0	2,558	
	佐賀	0	0	0	0	0	
	長崎	99	0	0	0	99	
	熊本	5	0	0	0	5	
	大分	110	0	0	0	110	
	宮崎	27	0	0	0	27	
	鹿児島	0	0	0	0	0	
	九州計	2,800	0	0	0	2,800	1.7%
沖縄	3,556	0	0	0	3,556	2.2%	
県外計	93,296	104	1,011	258	94,668	58.3%	
県内	62,800	2,135	1,168	1,494	67,596	41.7%	
総計	156,096	2,239	2,178	1,752	162,265	100.0%	

※ 調査対象者の集計都合によりP15-表15の数値と一致しない。

Ⅲ－２ 県外卸売業者

1 仕入状況

- ・ 仕入先は、「全農」が65.0%、「全農、JA以外の集荷業者」が11.2%、「JA」が9.1%となっている。
- ・ 銘柄別では、「会津コシヒカリ」が43.8%、「ひとめぼれ」が25.5%、「中通コシヒカリ」が19.4%となっている。

表17 仕入先

【単位:玄米t・%】

業態 銘柄	全農	JA	全農、JA以外の集荷業者	その他	計 (割合)
会津コシヒカリ	26,945	780	703	1,250	29,678 (43.8)
中通コシヒカリ	4,240	2,190	3,871	2,863	13,164 (19.4)
浜通コシヒカリ	2,006	301	137	630	3,074 (4.5)
ひとめぼれ	8,532	1,499	2,107	5,124	17,262 (25.5)
天のつぶ	1,551	240	77	12	1,880 (2.8)
その他(うるち)	759	1,154	688	108	2,709 (4.0)
その他(もち)	0	12	13	0	25 (0.0)
計	44,033 (65.0)	6,176 (9.1)	7,596 (11.2)	9,987 (14.7)	67,792 (100.0)

図17 仕入先(業態別)

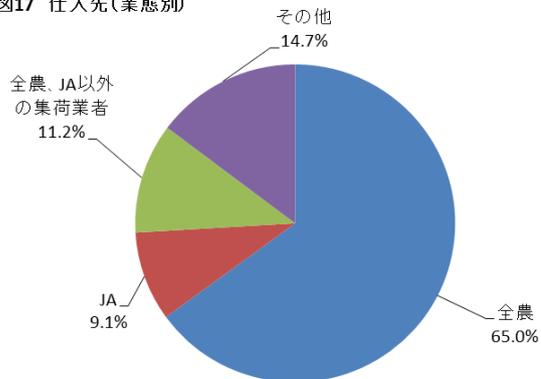
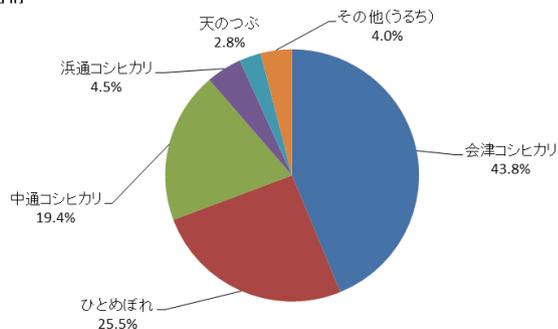


図18 取扱銘柄



2 販売状況

(1) 販売先

「県外中食産業」が36.2%、「県外卸売業者」が24.2%となっている。

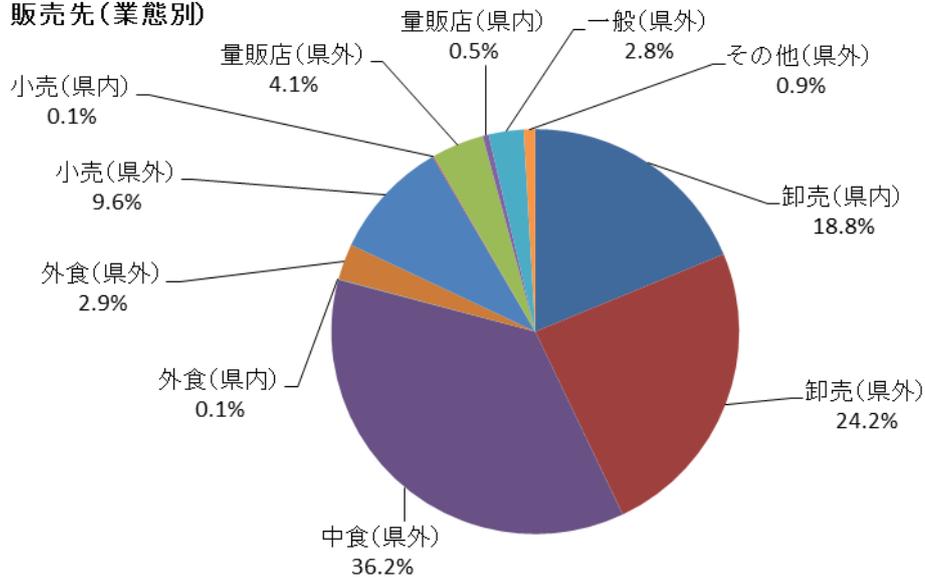
表18 販売先(業態別)

【単位:玄米t・%】

業態	卸売業者		小売店		量販店		外食産業	
	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
数量 (割合)	11,154 (18.8)	14,374 (24.2)	56 (0.1)	5,687 (9.6)	279 (0.5)	2,462 (4.1)	30 (0.1)	1,704 (2.9)

中食産業		一般消費者		その他		計	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
4 (0.0)	21,523 (36.2)	0 (0.0)	1,656 (2.8)	0 (0.0)	537 (0.9)	11,523 (19.4)	47,943 (80.6)

図19 販売先(業態別)



(2) 販売地域

「関東」が59.0%、次いで「県内」が28.3%となっている。

表19 販売地域

【単位:玄米t・%】

都道府県名	主食用 うるち米	酒造好適米	加工・原材料うる ち米及びかけ米	もち米	計	割合
北海道	0	0	0	0	0	0.0%
東北	青森	0	0	0	0	
	岩手	13	0	0	13	
	宮城	1	0	0	1	
	秋田	0	0	0	0	
	山形	301	0	0	301	
	東北計(福島除く)	315	0	0	315	0.8%
関東	茨城	24	0	0	24	
	栃木	197	0	0	197	
	群馬	1,074	0	0	1,074	
	埼玉	5,966	0	0	5,966	
	千葉	915	0	0	915	
	東京	10,740	0	0	10,740	
	神奈川	4,820	0	0	4,828	
	山梨	46	0	0	46	
	長野	72	0	0	72	
	静岡	147	0	0	147	
	関東計	24,001	0	0	24,009	59.0%
北陸	新潟	0	0	0	0	
	富山	0	0	0	0	
	石川	0	0	0	0	
	福井	0	0	0	0	
	北陸計	0	0	0	0	0.0%
東海	岐阜	83	0	0	83	
	愛知	880	0	0	880	
	三重	0	0	0	0	
	東海計	963	0	0	963	2.4%
近畿	滋賀	0	0	0	0	
	京都	111	0	0	111	
	大阪	409	0	0	409	
	兵庫	211	0	0	211	
	奈良	0	0	0	0	
	和歌山	1,008	0	0	1,008	
近畿計	1,739	0	0	1,739	4.3%	
中国・四国	鳥取	0	0	0	0	
	島根	0	0	0	0	
	岡山	0	0	0	0	
	広島	0	0	0	0	
	山口	0	0	0	0	
	徳島	0	0	0	0	
	香川	32	0	0	32	
	愛媛	11	0	0	11	
	高知	0	0	0	0	
	中国・四国計	43	0	0	43	0.1%
九州	福岡	2,106	0	0	2,106	
	佐賀	0	0	0	0	
	長崎	0	0	0	0	
	熊本	0	0	0	0	
	大分	0	0	0	0	
	宮崎	0	0	0	0	
	鹿児島	0	0	0	0	
	九州計	2,106	0	0	2,106	5.2%
沖縄	0	0	0	0	0.0%	
県外計	29,167	0	0	8	29,175	71.7%
県内	11,521	0	0	0	11,521	28.3%
合計	40,688	0	0	8	40,696	100.0%

※ 調査対象者の集計都合によりP18-表18の数値と一致しない。

有効回答が得られなかった1社を除く。

IV 実需者 IV-1 量販店

1 取扱状況

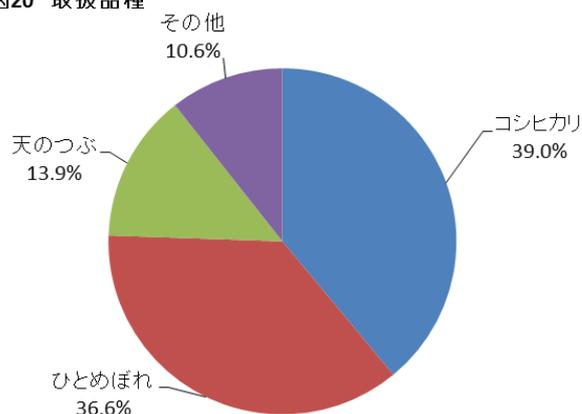
(1) 取扱品種

「コシヒカリ」が39.0%、「ひとめぼれ」が36.6%となっている。

表20 取扱品種 【単位:玄米t・%】

品種	数量 (割合)
コシヒカリ	909 (39.0)
ひとめぼれ	852 (36.6)
天のつぶ	323 (13.9)
その他	247 (10.6)
計 (割合)	2,331 (100)

図20 取扱品種



(2) 仕入先

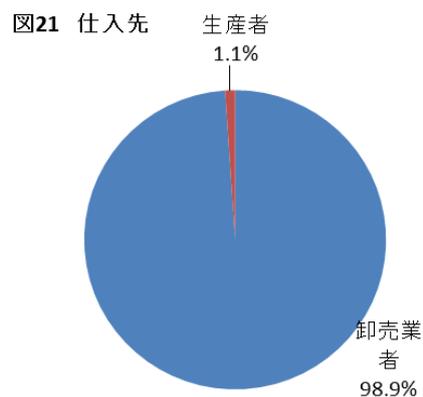
卸売業者からの仕入が98.9%となっている。

表21 仕入先

【単位:玄米t・%】

業態	卸売業者	生産者	計
数量	2,306	25	2,331
(割合)	(98.9)	(1.1)	(100)

図21 仕入先



IV-2 ホテル・旅館業者

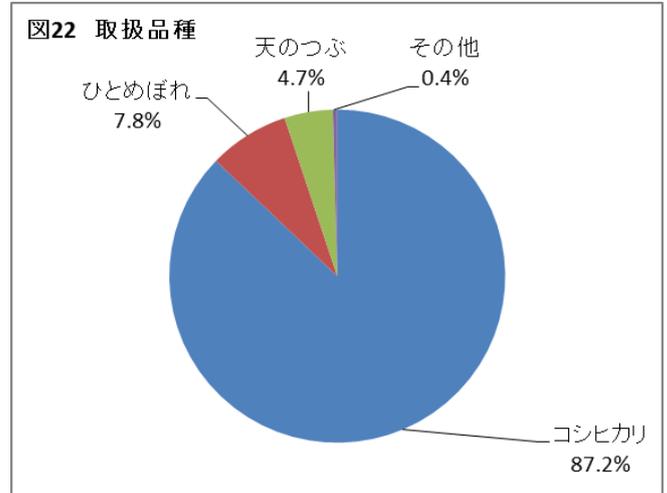
1 取扱状況

(1) 取扱品種

「コシヒカリ」87.2%、「ひとめぼれ」7.8%となっている。

表22 取扱品種 【単位:玄米t・%】

品種	数量 (割合)
コシヒカリ	56 (87.2)
ひとめぼれ	5 (7.8)
天のつぶ	3 (4.7)
その他	0 (0.4)
計 (割合)	64 (100)

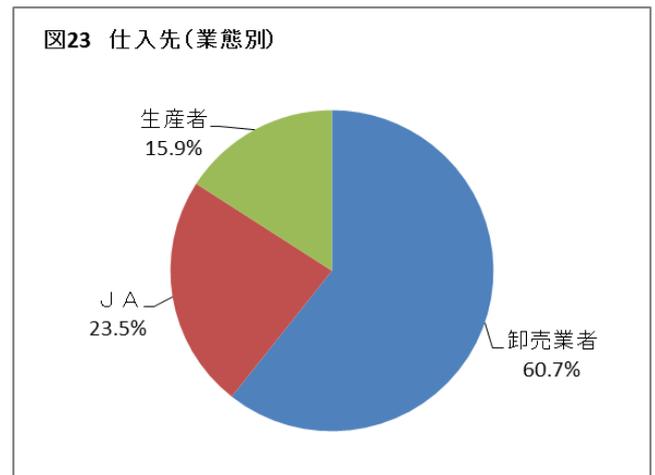


(2) 仕入先

「卸売業者」が60.7%と最も多く、「JA」が23.5%となっている。

表23 仕入先 【単位:玄米t・%】

業態	卸売業者	JA	生産者	計
数量	39	15	10	64
(割合)	(60.7)	(23.5)	(15.9)	(100.0)



IV-3 小売業者

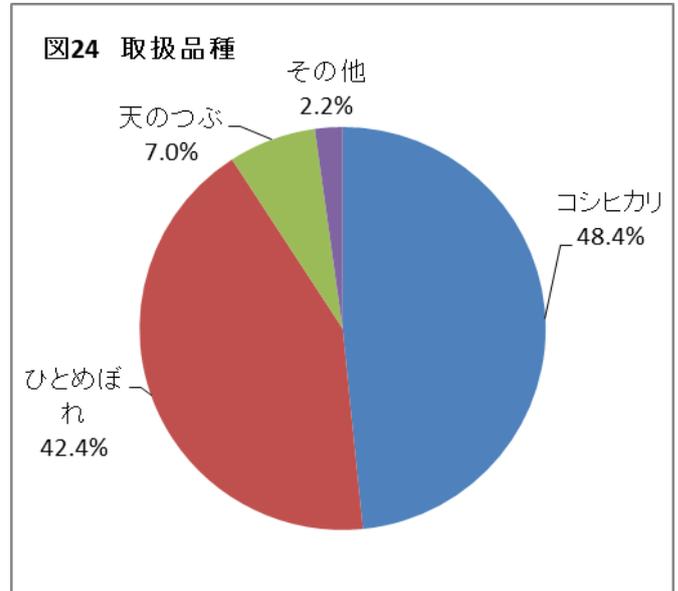
1 取扱状況

(1) 取扱品種

「コシヒカリ」48.4%、「ひとめぼれ」42.4%となっている。

表24 取扱品種 【単位:玄米t・%】

品種	数量 (割合)
コシヒカリ	243 (48.4)
ひとめぼれ	213 (42.4)
天のつぶ	35 (7.0)
その他	11 (2.2)
計 (割合)	502 (100.0)

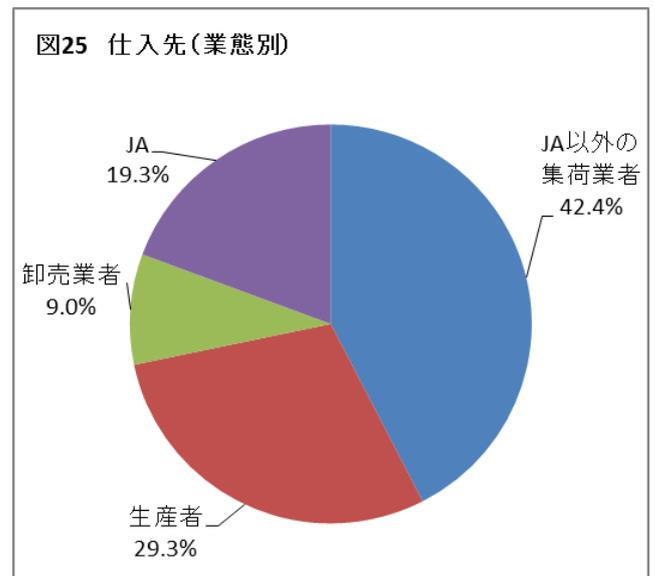


(2) 仕入先

「JA以外の集荷業者」が42.4%、「生産者」が29.3%となっている。

表25 仕入先 【単位:玄米t・%】

業態	卸売業者	JA	JA以外の集荷業者	生産者	計 (割合)
数量 (割合)	45 (9.0)	97 (19.3)	213 (42.4)	147 (29.3)	502 (100.0)



IV-4 食品加工業者

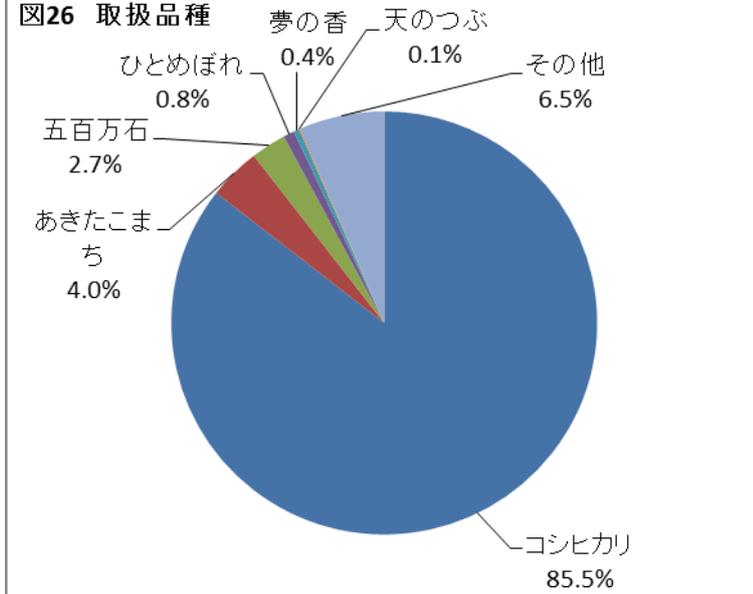
1 取扱状況

(1) 取扱品種

「コシヒカリ」85.5%、「あきたこまち」4.0%となっている。

表26 取扱品種 【単位:玄米t・%】

品種	数量 (割合)
コシヒカリ	1,839 (85.5)
あきたこまち	85 (4.0)
五百万石	57 (2.7)
ひとめぼれ	18 (0.8)
夢の香	9 (0.4)
天のつぶ	2 (0.1)
その他	139 (6.5)
計 (割合)	2,150 (100)

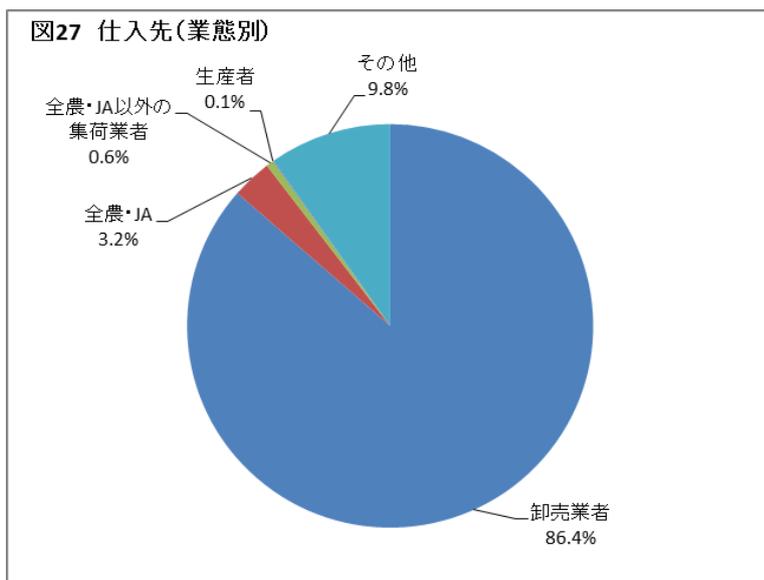


(2) 仕入先

「卸売業者」86.4%、「全農・JA」3.2%となっている。

表27 仕入先 【単位:玄米t・%】

業態	卸売業者	全農・JA	全農・JA以外の集荷業者	生産者	その他	計
数量	1,859	69	12	1	210	2,150
(割合)	(86.4)	(3.2)	(0.6)	(0.1)	(9.8)	(100)



有機・特裁・エコ米に関する調査結果

1 調査対象者等

- (1) 調査対象
「Ⅱ農業協同組合」、「Ⅲ卸売業者等」
- (2) 回答数
18

2 調査結果

- (1) 有機栽培米
- ・ 販売地域は、「関東」77.3%、「県内」22.7%となっている。
 - ・ 販売先は、「外食産業」34.6%、「小売・量販店」24.9%となっている。
 - ・ 販売価格は5割高以上の回答が多かった。

表28 販売地域 【単位:玄米t・%】

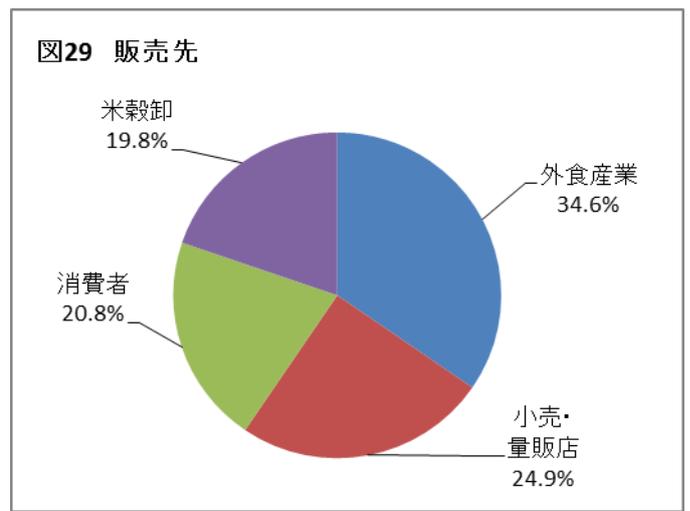
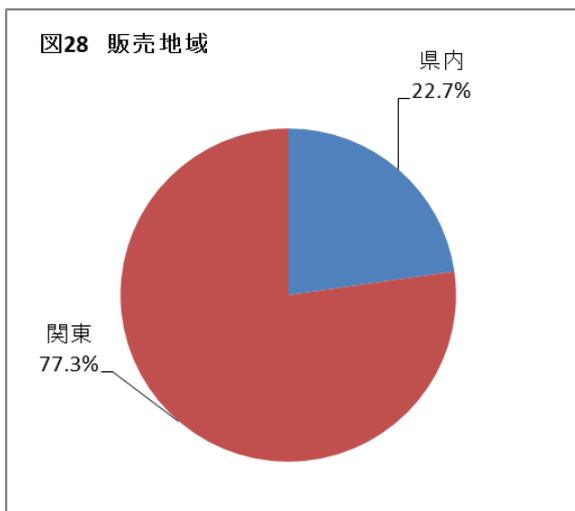
地域	県内	北海道	東北(福島県を除く)	関東	北陸	東海
数量 (割合)	23 (22.7)	-	-	78 (77.3)	-	-
	近畿	中国・四国	九州	沖縄	その他	計 (割合)
	-	-	-	-	-	101 (100)

表29 販売先 【単位:玄米t・%】

業態	米穀卸	外食産業	中食産業	小売・量販店	消費者	その他	計 (割合)
数量 (割合)	20 (19.8)	35 (34.6)	-	25 (24.9)	21 (20.8)	-	101 (100)

表30 一般米との価格の比較

比較	同等	1割高	2割高	3割高	4割高	5割高	5割高以上
回答数	0	0	1	0	0	1	3



(2) 特別栽培米

- ・ 販売地域は、「関東」が54.5%、「県内」25.1%となっている。
- ・ 販売先は、「米穀卸」が63.3%、「小売・量販店」が29.3%となっている。
- ・ 販売価格は、1割高との回答が多かった。

表31 販売地域

【単位:玄米t・%】

地域	県内	北海道	東北(福島県を除く)	関東	北陸	東海
数量 (割合)	3,858 (25.1)	108 (0.7)	737 (4.8)	8,358 (54.5)	224 (1.5)	175 (1.1)
	近畿	中国・四国	九州	沖縄	その他	計
	1,100 (7.2)	119 (0.8)	592 (3.9)	76 (0.5)	—	15,347 (100)

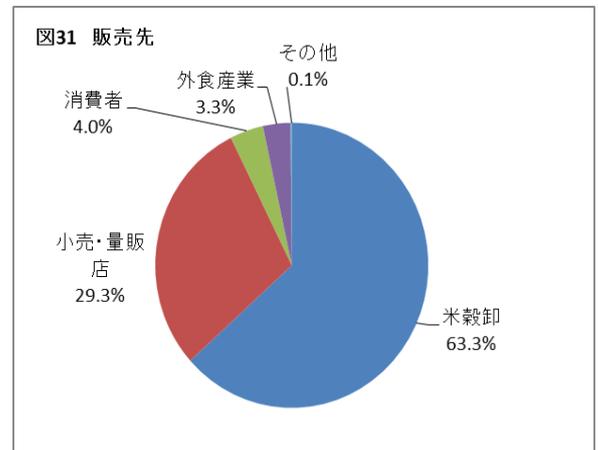
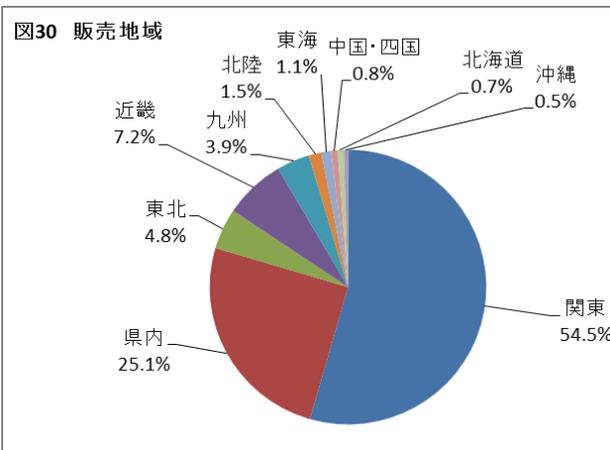
表32 販売先

【単位:玄米t・%】

業態	米穀卸	外食産業	中食産業	小売・量販店	消費者	その他	計
数量 (割合)	9,721 (63.3)	503 (3.3)	—	4,497 (29.3)	606 (4.0)	20 (0.1)	15,347

表33 一般米との価格の比較

比較	同等	1割高	2割高	3割高	4割高	5割高	5割高以上
回答数	4	10	2	1	1	0	1



(3) エコ米

- ・ 販売地域は、「関東」が50.0%、「県内」が33.5%となっている。
- ・ 販売先は、「米穀卸」が97.6%となっている。
- ・ 販売価格は、慣行栽培と同等との回答が多かった。

表34 販売地域

【単位:玄米t・%】

地域	県内	北海道	東北	関東	北陸	東海
数量 (割合)	11,033 (33.5)	16 (0.0)	322 (1.0)	16,462 (50.0)	12 (0.0)	398 (1.2)

近畿	中国・四国	九州	沖縄	その他	計
2,896 (8.8)	270 (0.8)	248 (0.8)	1,324 (4.0)	—	32,980 (100)

表35 販売先

【単位:玄米t・%】

業態	米穀卸	外食産業	中食産業	小売・量販店	消費者	その他	計 (割合)
数量 (割合)	32,198 (97.6)	55 (0.2)	100 (0.3)	560 (1.7)	31 (0.1)	36 (0.1)	32,980 (100)

表36 一般米との価格の比較

比較	同等	1割高	2割高	3割高	4割高	5割高	5割高以上
回答数	7	1	0	0	0	0	0

図32 販売地域

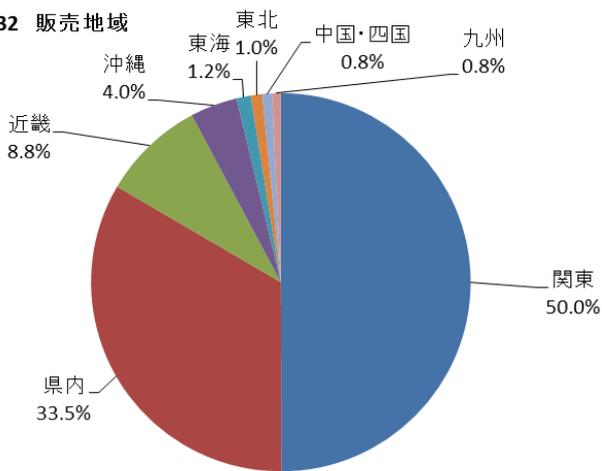
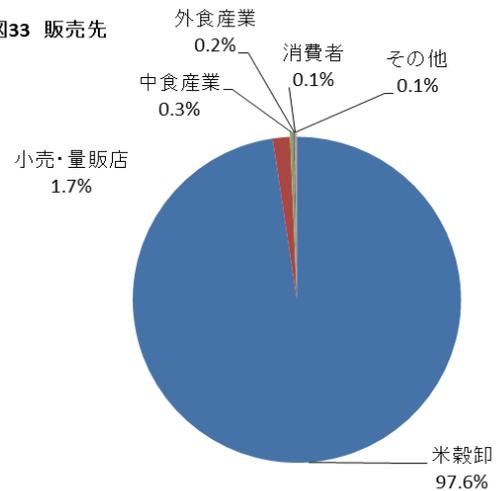


図33 販売先



県産米の評価等

県産米の評価等に関する調査結果

1 県産米の良い点(良評価)

「食味がよい」が最も多く、次いで「品質がよい」であった。

【単位:回答数】(複数回答)

業態	①品質がよい	②食味がよい	③価格が安定している	④収量が安定している	⑤「安全・安心」である	⑥その他
県内卸売業者等	14	16	9	5	7	0
県外卸売業者	4	4	1	0	2	0
量販店	3	1	1	0	1	0
旅館業者	3	4	3	3	3	0
小売業者	1	3	2	0	1	0
食品加工業者	3	3	5	3	0	1
計	28	31	21	11	14	1

※ 上記「⑥その他」に係る主な意見

- ・ 福島産にこだわりたい

2 県産米の悪い点(悪評価)

「ブランド力不足」が最も多く、次いで「その他」であり「その他」の意見として風評の回答が多かった。

【単位:回答数】(複数回答)

業態	①品質にバラツキ	②食味にバラツキ	③価格差が生じる	④収量が不安定である	⑤ブランド力不足(PR不足)	⑥その他
県内卸売業者等	0	1	3	2	14	6
県外卸売業者	0	0	0	0	2	3
量販店	0	0	1	1	1	1
旅館業者	0	0	2	0	3	1
小売業者	0	0	1	0	3	0
食品加工業者	2	0	1	0	1	2
計	2	1	8	3	24	13

※ 上記「⑥その他」に係る主な意見

- ・ 風評被害が続いている
- ・ 業務用米が足りない
- ・ 山形のように徹底したブランド管理が必要

3 集荷・販売における県産米の区分

「会津・中通り・浜通りの3地域に区分」して集荷・販売しているとの回答が多かった。

【単位:回答数】(複数回答)

業態	①福島県産米として一括りにしている	②会津・中通り・浜通りの3地域に区分している	③会津・中通り・浜通りから、平坦・山沿い・山間高冷地域などの地帯別に区分している	④市町村やJA単位で区分している	⑤その他
県内卸売業者等	0	15	1	1	3
県外卸売業者	1	4	0	0	0
計	1	19	1	1	3

※ 上記「⑥その他」に係る主な意見

- ・ 生産者単位
- ・ 米粒品質・食味機器にて区分
- ・ コシヒカリ、ひとめぼれについては会津と県産米に分けている

4 福島県産米を仕入れる際の優先順位

【会津コシヒカリ】

品質・食味を1位とした回答が一番多かった。

【単位:回答数】

業態	品質・食味				仕入価格			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
県内卸売業者等	13	2	0	1	2	0	5	6
県外卸売業者	1	3	0	0	1	0	1	2
量販店	3	0	0	0	0	0	3	0
小売業者	2	0	0	1	1	0	0	2
計	19	5	0	2	4	0	9	10
	量の確保				ブランド力			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
	0	3	7	3	2	9	1	1
	0	0	3	1	2	1	0	1
	0	1	0	2	0	2	0	1
	0	2	1	0	0	1	2	0
	0	6	11	6	4	13	3	3

【中通り産コシヒカリ】

品質・食味を1位とした回答が一番多かった。

【単位:回答数】

業態	品質・食味				仕入価格			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
県内卸売業者等	7	3	3	0	5	4	2	1
県外卸売業者	1	2	1	0	3	1	0	0
量販店	1	0	0	0	0	0	1	0
小売業者	1	0	2	0	1	1	1	0
計	10	5	6	0	9	6	4	1
	量の確保				ブランド力			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
	1	5	5	0	0	0	1	8
	0	1	2	1	0	0	1	3
	0	0	0	1	0	1	0	0
	0	2	0	1	1	0	0	2
	1	8	7	3	1	1	2	13

【浜通り産コシヒカリ】

仕入価格を1位とした回答が一番多かった。

【単位:回答数】

業態	品質・食味				仕入価格			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
県内卸売業者等	1	4	4	1	10	1	0	0
県外卸売業者	0	3	1	0	4	0	0	0
量販店	0	1	0	0	1	0	0	0
小売業者	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	8	5	1	15	1	0	0
	量の確保				ブランド力			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
	0	4	5	0	0	1	0	7
	0	1	3	0	0	0	0	4
	0	0	1	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	5	9	0	0	1	0	12

【ひとめぼれ】

仕入価格を1位とした回答が一番多かった。

【単位:回答数】

業態	品質・食味				仕入価格			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
県内卸売業者等	4	6	5	1	11	2	1	1
県外卸売業者	0	3	1	0	4	0	0	0
量販店	3	0	0	0	0	2	1	0
小売業者	1	2	0	0	1	0	2	0
計	8	11	6	1	16	4	4	1
業態	量の確保				ブランド力			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
	0	8	3	2	1	0	4	6
	0	1	3	0	0	0	0	4
	0	1	1	1	0	0	1	2
	0	1	0	2	1	0	1	1
	0	11	7	5	2	0	6	13

【天のつぶ】

仕入価格を1位とした回答が一番多かった。

【単位:回答数】

業態	品質・食味				仕入価格			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
県内卸売業者等	2	6	5	0	9	2	3	0
県外卸売業者	0	2	2	0	3	1	0	0
量販店	2	0	1	0	1	1	1	0
小売業者	1	1	0	0	1	0	1	1
計	5	9	8	0	14	4	5	1
業態	量の確保				ブランド力			
	1位	2位	3位	4位	1位	2位	3位	4位
	2	5	1	3	2	0	2	6
	1	1	2	0	0	0	0	4
	0	1	1	1	0	1	0	2
	0	1	1	0	1	0	0	1
	3	8	5	4	3	1	2	13

5 福島県産米に係る今後の取扱い意向

【会津産コシヒカリ】

- ・ 販売状況については「売れている」との回答が一番多かった。
- ・ 取扱については「増加させたい」との回答が一番多かった。

【単位:回答数】

業態	①売れている	②売れていない	③取り扱っていない	④増加させたい	⑤減少させたい	⑥現状維持
県内卸売業者等	13	3	2	7	1	10
県外卸売業者	3	1	0	2	0	2
量販店	2	1	0	2	0	1
小売業者	3	0	0	3	0	0
計	21	5	2	14	1	13

【中通り産コシヒカリ】

- ・ 販売状況については「売れている」との回答が一番多かった。
- ・ 取扱については「増加させたい」との回答が一番多かった。

【単位：回答数】

業態	①売れている	②売れていない	③取り扱っていない	④増加させたい	⑤減少させたい	⑥現状維持
県内卸売業者等	12	2	4	9	1	6
県外卸売業者	4	0	0	4	0	0
量販店	0	1	2	0	0	2
小売業者	2	1	0	3	0	0
計	18	4	6	16	1	8

【浜通り産コシヒカリ】

- ・ 販売状況については「取り扱っていない」との回答が一番多かった。
- ・ 取扱については「増加させたい」との回答が一番多かった。

【単位：回答数】

業態	①売れている	②売れていない	③取り扱っていない	④増加させたい	⑤減少させたい	⑥現状維持
県内卸売業者等	6	2	10	6	2	4
県外卸売業者	3	0	1	4	0	0
量販店	1	0	2	1	0	2
小売業者	0	1	1	0	0	0
計	10	3	14	11	2	6

【ひとめぼれ】

- ・ 販売状況については「売れている」との回答が一番多かった。
- ・ 取扱については「増加させたい」との回答が一番多かった。

【単位：回答数】

業態	①売れている	②売れていない	③取り扱っていない	④増加させたい	⑤減少させたい	⑥現状維持
県内卸売業者等	17	2	0	14	1	3
県外卸売業者	4	0	0	4	0	0
量販店	3	0	0	3	0	0
小売業者	3	0	0	1	0	2
計	27	2	0	22	1	5

【天のつぶ】

- ・ 販売状況については「売れている」との回答が一番多かった。
- ・ 取扱については「増加させたい」との回答が一番多かった。

【単位：回答数】

業態	①売れている	②売れていない	③取り扱っていない	④増加させたい	⑤減少させたい	⑥現状維持
県内卸売業者等	11	3	4	12	0	5
県外卸売業者	2	0	2	4	0	0
量販店	2	1	0	2	0	1
小売業者	1	2	0	2	0	1
計	16	6	6	20	0	7

6 有機栽培米・特別栽培米・エコ米に係る今後の取扱い意向 有機栽培米、特別栽培米及びエコ米ともに「現状維持」との回答が多かった。

【有機米】

【単位：回答数】

業態	①増加させたい	②減少させたい	③現状維持
県内卸売業者等	0	0	6
県外卸売業者	1	1	13
量販店	1	0	1
小売業者	1	0	0
計	3	1	20

【特別栽培米】

【単位：回答数】

業態	①増加させたい	②減少させたい	③現状維持
県内卸売業者等	3	0	8
県外卸売業者	6	1	18
量販店	3	0	0
小売業者	1	0	1
計	13	1	27

【エコ米】

【単位：回答数】

業態	①増加させたい	②減少させたい	③現状維持
県内卸売業者等	0	1	4
県外卸売業者	0	3	9
量販店	0	1	0
小売業者	0	0	1
計	0	5	14

7 仕入れの際に重視していること

「価格」を重視しているとの回答が最も多く、次いで「食味」となっている。

【単位：回答数】(複数回答)

業態	①食味	②価格	③品質	④数量	⑤安全性	⑥知名度	⑦その他
県内卸売業者等	3	6	1	1	0	0	0
県外卸売業者	0	3	0	1	0	0	0
量販店	2	2	1	0	2	0	0
旅館業者	5	3	4	1	0	0	0
小売業者	3	1	0	0	1	1	0
食品加工業者	4	6	5	1	0	0	0
計	17	21	11	4	3	1	0

※ 主なコメント

- ・ 会津産米に関しては食味・品質は問題なく、需要が多いが低価格の要求が強い。業務用米、安価な物を求める消費者のニーズに対応するには価格にこだわる必要があるが、あまりにもコンヒカリ以外の米の作付が少なすぎる。
- ・ JAからの仕入のため価格等はあまり交渉ができないため、消費者が一番敏感に感じる食味を重視している。
- ・ 2年連続値上げにより、特に業務用取引先の少しでも安いものを仕入れたい意向が顕著。飼料用米シフトにより据物銘柄の数量が激減している。
- ・ 仕入れる際は、できる限り不良在庫を防ぐため、前年度の売上で使用数量を割り出している。そのため、適格な仕入れ数量を算出するのが大事である。
- ・ 会津の米は全般的に良食米なので価格が優先される。
- ・ 安全性は当たり前(特に事故以降)、食味及び品質のよいお米を安定的に供給していくために重視する。

- ・消費量が毎年8万tずつ減っていく中で業者が減らないということは、過当競争になる。少しでも仕入れ価格を抑えなければ競争に負ける。価格が上昇しても、販売価格に転嫁しづらい。
- ・差別化を図りたい。
- ・風評被害が依然としてある。
- ・末端ユーザーは品質食味よりも価格を最重視している。
- ・価格、食味も重要だが、年間安定した数量を確保して、実需者に結びつけて行くかが、今後も現在も重要になってくる。
- ・業務用向けの低価格米が不足している。
- ・最重要項目は価格と考える。商売としての基本と思う。
- ・全袋検査を実施しているが、県外での販売が厳しい状況である。
- ・食品、品質、価格も大事だが、ひとめぼれ、天のつぶ、こしいぶきと物量の確保が厳しくなっているため、物量の確保も大事になってくる。
- ・良いものでなければいいが、安くても悪ければ取り扱わない。
- ・お客様が納得するものを提供しなければならない。
- ・米は食の原点と考えているので食味を第一に優先している。
- ・お客様に喜ばれるお米を提供したい。
- ・中通り産と比べて会津産の方が味が良いが、とても高いということはない。
- ・時間経過後の食味(炊飯5時間後、お客様が食べられる時間)が大事である。
- ・お弁当、おむすび、寿司を買いやすい価格で提供したい。
- ・利益を出さないといけない。
- ・酒類に適した品種の米を一定の品質で安全であり農家にも蔵元にも納得した価格で仕入れる事ができればと思う。
- ・得意先との価格交渉が難しいため、ある程度仕入れ価格を押さえつつ、そこそこの食味がある米を使用したい。

8 形態別の今後の取扱い意向

【単品販売向けの米】

- ・「増加させたい」との回答が一番多かった

【単位：回答数】

業態	①増加させたい	②減少させたい	③現状維持
県内卸売業者等	9	0	8
県外卸売業者	2	0	1
量販店	2	0	1
旅館業者	1	0	1
小売業者	3	0	0
食品加工業者	0	0	0
計	17	0	11

※ 増加させたい品種

コシヒカリ、天のつぶ、ひとめぼれ、ななつぼし、あきたこまち

【ブレンド販売向けの米】

・「増加させたい」「現状維持」との回答が多かった。

【単位：回答数】

業態	①増加させたい	②減少させたい	③現状維持
県内卸売業者等	6	0	9
県外卸売業者	2	0	1
量販店	2	1	0
旅館業者	0	0	1
小売業者	1	0	0
食品加工業者	0	0	0
計	11	1	11

※ 増加させたい品種

つくばSD1号、チヨニシキ、コシヒカリ、天のつづ、ひとめぼれ

【高価な米】

・「現状維持」との回答が一番多かった。

【単位：回答数】

業態	①増加させたい	②減少させたい	③現状維持
県内卸売業者等	2	2	11
県外卸売業者	0	0	2
量販店	3	0	0
旅館業者	0	0	1
小売業者	2	0	1
食品加工業者	0	0	0
計	7	2	15

※ 増加させたい品種

コシヒカリ、夢ごごち、つや姫、ブランド米各種

【安価な米】

・「増加させたい」との回答が一番多かった。

【単位：回答数】

業態	①増加させたい	②減少させたい	③現状維持
県内卸売業者等	12	1	1
県外卸売業者	1	0	1
量販店	1	1	0
旅館業者	0	0	1
小売業者	2	0	0
食品加工業者	1	0	0
計	17	2	3

※ 増加させたい品種

多収品種、いわき産コシヒカリ、天のつづ、ほむすめ舞、あきだわら

【GAPに対応した米】

- ・「現状維持」との回答が一番多かった。

【単位：回答数】

業態	①増加させたい	②減少させたい	③現状維持
県内卸売業者等	3	0	10
県外卸売業者	0	1	0
量販店	1	1	0
旅館業者	0	0	1
小売業者	0	0	1
食品加工業者	0	0	0
計	4	2	12

【新形質米】

- ・「現状維持」との回答が一番多かった。

【単位：回答数】

業態	①増加させたい	②減少させたい	③現状維持
県内卸売業者等	0	3	11
県外卸売業者	0	1	1
量販店	1	1	0
旅館業者	0	0	1
小売業者	1	0	0
食品加工業者	0	0	0
計	2	5	13

【その他、取扱いを拡大したい米】

多収穫米、中米、笑みの絆、業務用米、ネットで差別化できる米、山形95号、里山のつぶ、生産者限定米

9 生産における今後の意向(農業者)

- ・ 地域の担い手が少ないため、将来的には大面積の農地が集積されてくる。それに対応するため、雇用やハード面の整備を進めたい。また、加工にも取り組みたい。
- ・ コストを抑えるためにフレコンで出荷したい。そのための設備を整える。また、直播機を購入したため直播面積の拡大を考えている。また、飼料用米の取組を「天のつぶ」から多収品種である「ふくひびき」に切り替え、直播機との適性を見て、こちらも面積拡大を考えている。
- ・ JGAPの取得と、加工面ではHACCPの取得を考えている。勉強会や研修等に参加したい。
- ・ 地域全体での米作りと、農地の維持に努めたい。
- ・ 稲作経営の規模拡大を進めるとともに、特別栽培の認証を受けて販売の拡大を進めることにより経営の安定を図る。
- ・ 震災前は首都圏のデパートで独自ブランドの販売を行う等の取り組みを行っていたが、現在は全くない。現在の社長は、「自分が在任する間は風評被害は無くならない」と考えており、販売方法について考える必要があるのは当分先のことである。それまで地域農業を支えるため、農地を集積し規模を拡大しておく必要があると考えている。
- ・ 将来的には50ha規模での経営を目指す。

- ・ 可能な限り農地の集積を進め、規模拡大を図る。作付け品目については、現在も約4haで取り組んでいる転作大豆も含め、最も利益が確保できる割合について検討していく。さらに、現在も取り組んでいる、餅やおこわ等の加工部門の充実を図る。
- ・ 特別栽培が、消費者や小売店の評価が高いため割合を増やしたい。
- ・ 個人販売については現状維持。原発事故による風評被害が残っている間は、いくら安全性をアピールしても販路拡大は難しい。風評が治まるまで様子を見るしかない。
- ・ 作業性・販売先を考えて、コシヒカリを減らして他の品種に切り替える等、品種構成を見直していきたい(29年産米は、チヨニシキから里山のつぶに転換する予定)。
- ・ 主食用米の栽培を中心に拡大していく。
- ・ 稲作経営は現状維持。
- ・ 稲作経営は今後も規模拡大していきたい(ただし、水田区画30a以上の条件の良いほ場に限る)。
- ・ 近隣の農地(水田)を集約又は秋作業の受託を拡大したい。
- ・ 後継者(息子)がいるので、水田の規模拡大を図りたい。
- ・ 積極的に農地の借入れ等を行い、稲作経営の規模拡大を図っていく。
- ・ 飼料用米の取組を専用品種で増やす。
- ・ 新たな収入保険制度も検討し、経営の安定化を図っていきたい。
- ・ エコファーマー(ひとめぼれ)継続。
- ・ 自家精米による販売を拡大していきたい。
- ・ 平成30年度以降、減反の廃止は大変厳しくなると思われる。今、エコファーマーとして登録して、栽培生産し、業者及び消費者に直接販売しているが、もっともっと付加価値をつけて、美味しくても安全な食糧として、全国各地から注文が届くよう努力を重ねて、一人でも多くの人に喜んでもらえるよう社員みんなで頑張る。
- ・ 酒米の契約数量が減らされるため、その分はひとめぼれの作付けを増やす考え。
- ・ 確実に売れる米作りをしたい。
- ・ 販売できないほどの米作りはしない、むやみに作付は拡大したくない。
- ・ 規模拡大については今後とも進めていくが、当面は集落内での規模拡大を進めていく。集落内で委託を希望する人が出てきた場合に確実に受けられるようにしておきたいため、他の集落からどんどん受託することは考えていない。
- ・ 有機栽培米を専門店で販売する予定。これに伴い有機栽培も拡大の考え(除草機の新規導入)。GAPの取組を始め、オリンピックなどでの活用を目指す。
- ・ 特別栽培などに取り組むブランド米の設立を検討したい。
- ・ 基本的には現状維持したいが、近所の生産者が、作付けをやめる予定のため増加になる。
- ・ 2年後に息子へ経営移譲する予定。
- ・ 有機栽培による栽培面積の拡大。販売先は自分で開拓したとのこと。
- ・ 自社独自販売を増やしたい。
- ・ 原発事故による風評被害が未だにあり、業務用向けの米が中心となっているので有機栽培や特別栽培等は考えていない。販売は農協に任せる。
- ・ 現在の労力では、現状維持での経営規模を保つので十分である。
- ・ 今後も、JAへの委託販売を主に考えている。
- ・ 自分で作った米は自分で売る努力をしていきたいと考えている。
- ・ 主食用米に限らず飼料用米についても集荷業者(JA)を通さず、自分で直接販売していきたい。

- ・ 特別栽培を拡大させて、独自販売用の米への特色付けを進めつつも、負担軽減のため独自販売の規模は縮小したい。
- ・ 平成30年度以降に予定されている基盤整備次第。
- ・ 良食味米生産をしていく。一方で、多収も目指したい。販売面では独自のルート開拓をしたい。値段と収量があれば契約栽培にも取り組んでいきたい。
- ・ 業務用米や酒米についても、業者から提案があれば作付けしたい。
- ・ 堆肥等で土作りを行い、良食味米を生産してプレミアム米(篩い目2.0mm、タンパク含量の基準設ける等)を作りたい。そうして他商品との差別化・付加価値をつけ、直販力を上げたい。
- ・ それと同時に、作業受託や飼料用米取組もあるので、安定的に収量を増加させる米づくりを行いたい。
- ・ 農地の貸付希望や作業受託希望の農家が増えているため、規模拡大を検討せざるを得ない。規模拡大を念頭におき、機械・設備・作業場所などの増設を検討している。
- ・ 主食用米・酒造好適米の契約栽培、飼料用米の面積拡大。
- ・ 直接販売は、震災前の状況には戻らない。今後もJAや直売所を活用した販売が中心となると思われる。